

平成28年度前期 自己評価結果の考察と改善策

○実施概要

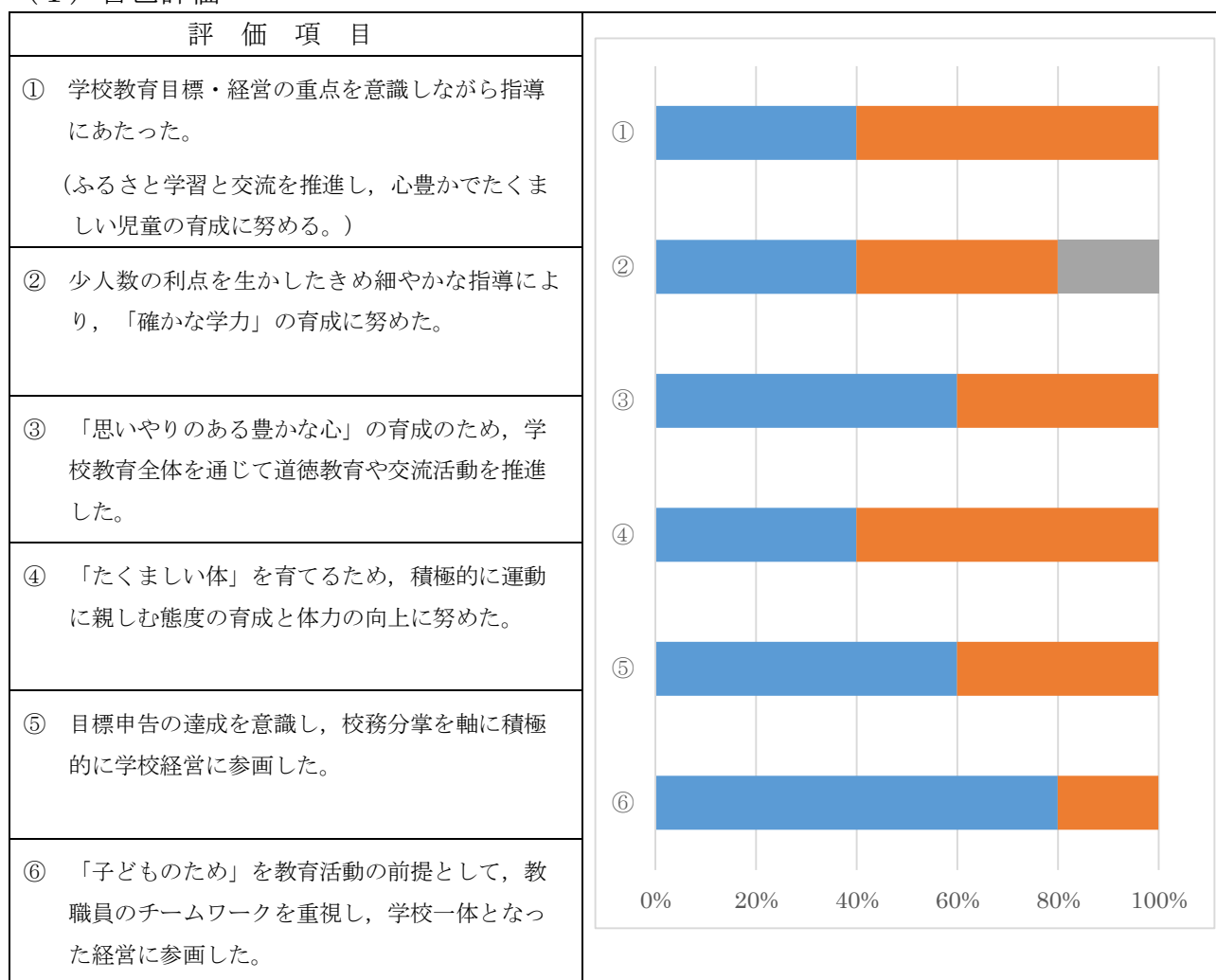
1 実施時期 平成28年7月

2 実施人数 5人

3 評価 《4》 よくできている ■ 《3》 ほぼできている ■
 《2》 あまりできていない ■ 《1》 できていない ■

I 学校運営

(1) 自己評価



(2) 自由記述

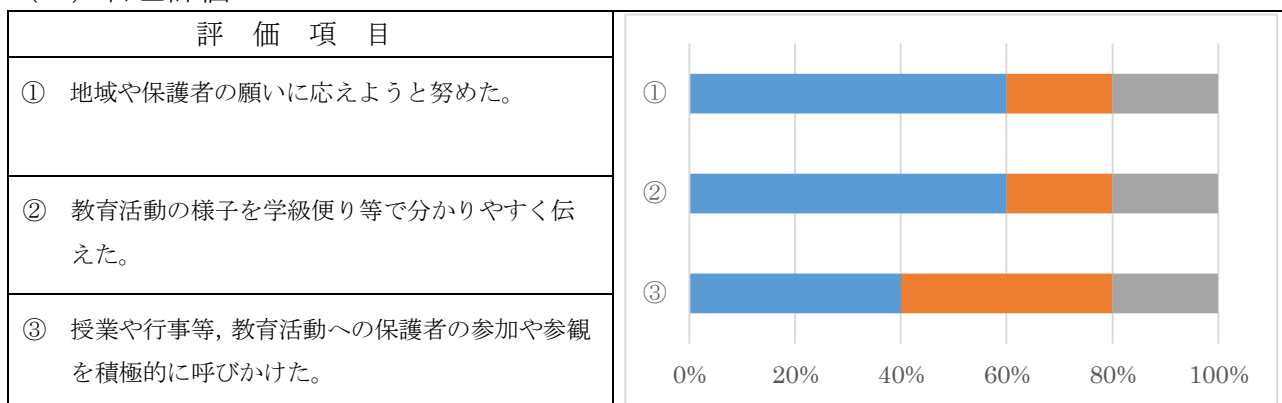
- ・児童の実態をよく理解し、苦手を克服し、得意を伸ばせるような授業を考えて実践するよう努めた。
- ・「ふるさと学習」への取り組みが十分でなかった。総合的な学習の時間を中心に、児童の関心に基づいて「ふるさと学習」の授業を展開していく。
- ・他人を思いやる気持ちを育てるために日頃から声をかけ、できたら褒めて行動を促すことができた。様々な場面で思いやりをもった行動ができるように指導を継続していく。
- ・マラソン頑張りカードを利用して1学期の目標を決め賞状を渡し賞賛した。思いやりのある心を育てるために、1行日記に人のために働いたことがあればシールを貼るようにしている。2学期も引き続き行って行きたい。
- ・児童が入りやすい雰囲気の保健室経営に努めた。

(3) 考察と改善策

- ・授業力向上のために、2学期は、研究授業と模擬授業を行う。
- ・授業等の情報の提供等を行う。
- ・道徳の授業では、視聴覚教材の活用や教材開発を行い、児童の琴線に触れる道徳の授業の充実に努める。
- ・海上小との交流活動がスムーズに行われるように、事前の計画、打ち合わせを綿密に行う。
- ・交流においての交通安全面での配慮をしていく。

II 開かれた学校

(1) 自己評価



(2) 自由記述

- ・学級だよりを毎月2回以上発行し、児童の様子を家庭に伝えることができた。
- ・昨年度の助言をいかし、学級通信に児童の感想をのせるように改善を図った。写真も取り入れて、保護者に学校での様子がよく伝わるように心がけた。
- ・良い行動や成長を連絡帳でこまめに伝えることができた。
- ・年度初めの懇談会で保護者の意見をよく聞き、願いに応じて指導にあたった。
- ・保護者の要望に応えようと努力したが難しかった。学級だよりや連絡帳などで日々の様子を伝えていたが、努力が足りなかったように思う。保護者は行事や参観には積極的に参加していただいたので有り難かった。
- ・保健掲示物や写真掲示物を毎月変えて、子どもたちが見て学んだり、楽しんだりできるように作成した。

(3) 考察と改善策

- ・上記にあるように保護者に学校の様子がよく伝わるように視覚に訴える学級だよりやホームページで情報提供をこれからも行っていく。
- ・児童のよい点をこれからも、連絡帳や学級だより、電話等で伝えていく。
- ・運動会のように閉校に関する会議、行事等でも地域の方に積極的に参加して頂く。

Ⅲ 教育課程・教科領域指導

(1) 自己評価

評価項目	
① 学習中、子どもを励まし賞賛や承認をし、一人一人の子どもに熱心に指導した。	①
② 1時間1時間を大切に、目標を踏まえ、ユニバーサルデザインの考えを生かしたわかる授業を実践した。	②
③ 教材・教具などの工夫改善を図ったり、一人一人に応じたきめ細かな指導を実践したりした。	③
④ いじめ防止教育を全教育活動で行った。	④
⑤ 総合的な学習の時間（生活科）では、ふろさと学習や交流を踏まえた学習活動を推進した。	⑤
⑥ 思考力・表現力・判断力を高める指導を行った。	⑥
⑦ 全教育活動を通して、キャリア教育の趣旨を意識した指導に努めた。	⑦
⑧ 適切な評価・評定を生かし、個別指導を行った。	⑧
⑨ 日頃の教材研究、研修、校内研究会等に積極的に取り組み、教えるプロとしての意識を高め指導力向上を図った。	⑨
⑩ 家庭学習の習慣が身につくように指導を継続した。（自学ノートの活用、10分×学年）	⑩

(2) 自由記述

<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材などを活用し、わかりやすい授業を行うことができた。 ・一人一人に応じたプリントなどを用意し、習熟に合わせた指導をもっと実践する必要がある。 ・家庭学習の習慣化は毎日学習計画を立てさせることで、身につけさせることができた。 ・ユニバーサルデザインを意識した授業をさらに研究し、わかりやすい授業を実践できるようにしていきたい。 ・言葉遣いや友達との接し方については問題があったときには、その都度指導を行った。 ・新聞記事やタブレットを有効に活用したり、他学年や先生方との関わりをなるべく多く取り入れるよう努め、表現力や判断力の育成に努めた。 ・ちばっこ問題の活用、基礎テストでの思考力を要するオリジナル問題の作成などに取り組んだ。継続しているような問題に取り組ませていきたい。 ・学校生活の中で、子どもたちの良い部分、がんばった部分などを積極的に誉め、子どもたちの良さが伸びるよ

うな声かけや接し方を心がけ、実践することができた。良くない部分、良くない発言・行動などはその都度注意し改善に努めていきたい。

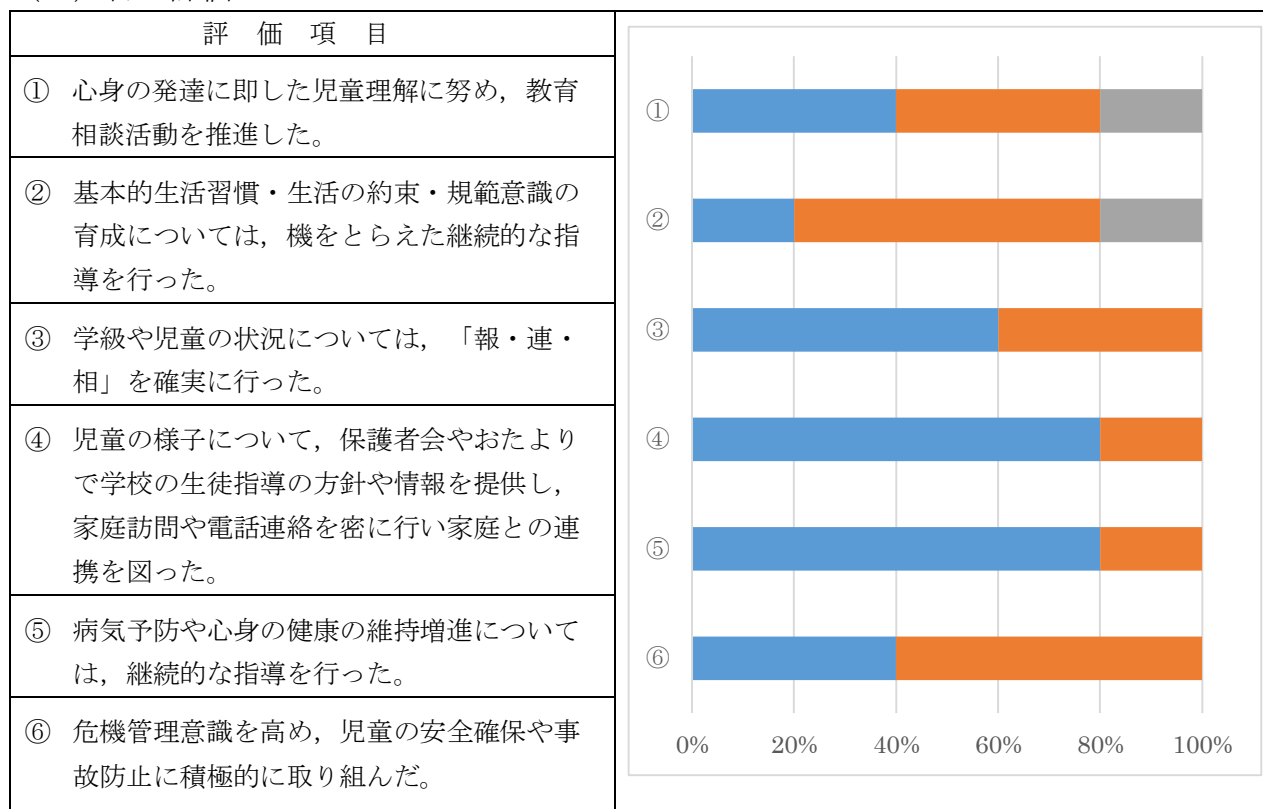
- ・表現力については、例をあげながらよりわかりやすく伝える方法を身に付けられるように指導していきたい。
- ・自学ノートは年度初めに取り組み方を指導し、良いところをほめながら取り組みを促した。毎日図書室にいき、借りた本をもとに進んで毎日学ぶ姿勢がみられるようになった。(5冊目)
- ・家庭学習の習慣を身につけることができなかった。集中して学習する意識を高めるため、ストップウォッチ等を使って時間を有効活用できるよう指導したい。

(3) 考察と改善策

- ・児童が興味持つような授業の導入をいつも心がけたり、わかりやすい展開、スモールステップの指導段階等を踏まえたりして授業づくりに努める。
- ・校内研修でユニバーサルデザインの授業を取り上げる。
- ・これからもユニバーサルデザインの授業を目標にどのような児童でも集中でき、学力を伸ばせる授業を目指す。
- ・個に応じた授業や教材、ワークシート、家庭学習を心がけて画一的な取り組みを改善する。
- ・家庭学習は、一人一人と計画を相談し、家庭とも連携を図り、その子に応じた学習レベル、内容を担任が支援して、家庭学習の習慣化を増長できるように取り組む。

IV 生徒指導・学級指導・健康安全指導

(1) 自己評価



(2) 自由記述

- ・生活アンケートなどで児童の実態把握をすることができた。また、悩みを早期に聞き、対応できた。
- ・児童の様子で気になることがあるときには、先生方や管理職にすぐに報告した。
- ・基本的な生活習慣、生活の約束、規範意識の育成については、全校で共通理解のもと指導にあたっていきたい。
- ・帰りの会・朝の会などで生活の約束・基本的な生活習慣については指導を行った。1学期の衛生検査はパーフェクトを達成することができた。また、出席率100%を達成することができた。
- ・子どもの訴える症状から起こりうる疾病を常に念頭に置いて対応した。
- ・保健室来室児童に対して、完治するまで継続的に処置や助言を行った。

(3) 考察と改善策

- ・学校で1つから3つくらいにこれだけはしっかり身に付ける基本的な生活習慣を決めて、それを一月に一つくらいずつ取り上げて、徹底する。(月の生活目標はあるが)閉校までに再設定する。(しつけの3原則)
- ・よい子どもは称揚する機会を全校集会等で設定する。(読書通帳のように)

V 校務分掌・サービス

(1) 自己評価

評価項目	
① 校務分掌を意識し、積極的に提案改善を行った。	①
② 諸表簿は的確に処理し、期日までに提出した。	②
③ 教育公務員としての自覚を持ち、サービス規律の遵守に努めた。	③
④ 通しのよい職場づくりを推進し、全職員で不祥事防止に努めた。	④

(2) 自由記述

- ・研究主任として、積極的な提案ができなかった。
- ・不祥事を起こさないよう風通しの良い職場になるように努めた。
- ・提出期限のあるものは、早めに取りかかるように努めた。
- ・教育公務員としての自覚を持って行動できた。

(3) 考察と改善策

- ・残りの期間の仕事をよく吟味し、計画的に取り組む。
- ・昨年度の実践に一つ工夫を加えて取り組む。
- ・学校徴収金は、学校徴収金口座に保管する。

VI 行事等

(1) 自己評価

評価項目										
① 行事の見直しを図りながら教育内容の充実に努めた。	<table border="1"><caption>自己評価結果の棒グラフ</caption><thead><tr><th>項目</th><th>Blue (達成)</th><th>Orange (未達成)</th></tr></thead><tbody><tr><td>① 行事の見直しを図りながら教育内容の充実に努めた。</td><td>40%</td><td>60%</td></tr><tr><td>② 行事の目的を達成するよう努めた。</td><td>60%</td><td>40%</td></tr></tbody></table>	項目	Blue (達成)	Orange (未達成)	① 行事の見直しを図りながら教育内容の充実に努めた。	40%	60%	② 行事の目的を達成するよう努めた。	60%	40%
項目		Blue (達成)	Orange (未達成)							
① 行事の見直しを図りながら教育内容の充実に努めた。	40%	60%								
② 行事の目的を達成するよう努めた。	60%	40%								
② 行事の目的を達成するよう努めた。										

(2) 自由記述

- ・猿田の丘なでしこ訪問、運動会ダンスなど、自分が担当する行事では児童自ら目的を感じられるように意識して指導にあたった。
- ・海上小との交流があることを視野に入れて、本校の行事がひかえている場合には前もって計画的に取り組んでいきたい。
- ・全体の見通しが甘かった。学級だけではなく、全体の指導も考えて行事の練習などを行って行きたい。
- ・行事においては自分の役割を理解し、行事を成功させようと計画や準備等に携われた。

(3) 考察と改善策

- ・交流や訪問、校内研究会、音楽会等が2学期はあるので、計画的に仕事に取り組んでいく。
- ・3月のありがとう集会、卒業式、閉校式、閉校イベントでの歌、出し物、発表等を9月中に調整し、決定する。